

フランソワ・トリュフォー

Francois Truffaut

生年月日 1932/02/06

出身地 フランス／パリ

没年 1984/10/21

関連人物 ファニー・アルダン（元妻）

【バイオグラフィ】

■幼い頃から両親に隠れて映画を観続け、やがてシネマテークやシネクラブ・デュ・カルチュ・ラタンに通い、後にヌーヴェル・ヴァーグを担う監督たちと知り合うようになる。失恋の痛手で発作的に軍隊に入るが、脱走して軍刑務所に入れられる。批評家アンドレ・バザンの力添えで除隊を認められ、彼の推薦で53年から“カイエ・デュ・シネマ”誌などに映画批評を書くようになった。短編を撮ったりシナリオを書きながら、59年に長編第一作「大人は判ってくれない」を完成、一躍ヌーヴェル・ヴァーグの旗手と目された。その後は、子供や女性、自身を色濃く投影した人物をテーマに多くの作品を発表し続けた。代表作に、「突然炎のごとく」、「華氏451」、「恋のエチュード」、「アデルの恋の物語」などがある。「未知との遭遇」では作品の中核を為すフランス人学者を演じたことはあまりにも有名な話である。81年にファニー・アルダンと再婚。ふたりの子供がいた。84年、脳腫瘍のためこの世を去った。

【フィルモグラフィ】

| | |
|----------------------------------|-----------------------|
| ヒッチコック／トリュフォー (2015) | 出演 |
| ふたりのヌーヴェルヴァーグ ゴダールとトリュフォー (2010) | 出演 |
| 未知との遭遇 ファイナル・カット版 (1997) | 出演 : クロード・ラコーム |
| フランソワ・トリュフォー／盗まれた肖像 (1993) | 出演 |
| 小さな泥棒 (1988) | 原作 |
| 日曜日が待ち遠しい! (1982) | 監督, 脚本 |
| 隣の女 (1981) | 監督, 製作, 脚本 |
| 終電車 (1980) | 監督, 製作, 脚本 |
| 未知との遭遇 特別編 (1980) | 出演 : クロード・ラコーム |
| 逃げ去る恋 (1978) | 監督, 製作, 脚本 |
| 緑色の部屋 (1978) | 監督, 脚本, 出演 |
| 未知との遭遇 (1977) | 出演 : クロード・ラコーム |
| 恋愛日記 (1977) | 監督, 製作, 脚本 |
| トリュフォーの思春期 (1976) | 監督, 製作, 脚本 |
| アデルの恋の物語 (1975) | 監督, 製作, 脚本 |
| 映画に愛をこめて アメリカの夜 (1973) | 監督, 製作, 脚本, 出演 : フェラン |
| 私のように美しい娘 (1972) | 監督, 脚本 |
| 恋のエチュード (1971) | 監督, 脚本 |
| 家庭 (1970) | 監督, 脚本 |
| 野性の少年 (1969) | 監督, 脚本, 出演 |
| 暗くなるまでこの恋を (1969) | 監督, 脚本 |
| 夜霧の恋人たち (1968) | 監督, 脚本 |

| | |
|-----------------------------|------------|
| 黒衣の花嫁 (1968) | 監督, 脚本 |
| 彼女について私が知っている二、三の事柄 (1966) | 製作 |
| 華氏451 (1966) | 監督, 脚本 |
| マタ・ハリ (1964) | 脚本 |
| 柔らかい肌 (1963) | 監督, 脚本 |
| 二十歳の恋 (1962) | 監督, 脚本 |
| 突然炎のごとく (1961) | 監督, 脚本 |
| ピアニストを撃て (1960) | 監督, 脚本 |
| 勝手にしやがれ (1959) | 原案 |
| 大人は判ってくれない (1959) | 監督, 製作, 脚本 |
| 水の話 (1958) | 監督 |
| あこがれ (1958) | 監督, 脚本, 台詞 |
| 水の話／プチ・シネマ・バザール (1957～1989) | 監督 |
| 王手飛車取り (1956) | 出演 |